

サマースクール

平成19年8月8日～10日に、八幡浜市立双岩小学校において、双岩小学校の生徒（1～6年生の生徒70名）を対象にサマースクールを行いました。その中の活動の一つとして、飯盒炊爨を行いました。ブロックを組み立てグラウンドに釜をつくり、カレーとご飯を子どもたちと作りました。野菜を洗うのにも、カレーを作るにもご飯を炊くにも水は必要不可欠です。また炎天下での作業では水分はとても大切です。双岩小学校の近くには川や海はありませんでしたが、日ごろ何気なく使っている水の大切さを少しでも伝えられたのではないかと考えています。

夜にはキャンプファイヤーを行いました。その際、山からやってきたという小人に扮した大学生が登場し、一緒に歌や踊りを行いました。小人たちは自分たちが暮らしている山や川が汚れていることで、困っていると児童たちに伝えました。

子どもたちがサマースクールで経験したことを、思い出すたびに水の大切さ、自然の大切さを思い出すことができます。

